

市川市立中国分小学校6年生を対象に外環工事現場見学会を開催！

東日本高速道路(株)関東支社
千葉工事事務所

平成27年1月21日(水)、市川市立中国分小学校6年生80名を対象に、『現場見学会』を実施しました。

今回の見学会は、東京外かく環状道路(千葉県区間)整備促進市川・松戸商工会議が主催し、NEXCO東日本 千葉工事事務所、国土交通省 主都国道事務所及び市川市が共催し、開催しました。

まずは、小学校で「道路は何のためにあるのか」「外環をつくることで街や自然にどのような効果があるのか」について、授業を行いました。

その後、バスに乗って現場内を移動しました。現場内では、地下の試験函体(道路の作り方を検討するために作ったもの)へ降り、完成イメージを見学し、それからバッチャープラントに置いてある掘削現場から出土した貝殻に実際に触れながら、外環の工事箇所が大昔は海だったことを学びました。また、実際にポンプ車を使用してコンクリートを打っているところも見学することができました。普段は見ることのできない工事現場内には珍しいものがたくさんあり、子供たちは興味津々な様子で見学をしていました。

千葉工事事務所では、外環工事について理解を深めていただくため、地域住民の方々や子供たちを対象に、これからも現場見学会を実施していく予定です。



▲道路の役割ってなんだろう？



▲完成イメージに興味津々！！



▲地下から貝殻がでてきています



▲パネルを使った説明を真剣に聞いています